

適合する機器の型式表の参照 ④ の機種

- 油タンクと、電池ケースから乾電池を取り出してください。
- 「緊急消火ボタン」を押して、対震自動消火装置を作動させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。
- 「しん調節つまみ」を引き抜いてください。

- 本体の両側面と背面にある止めねじ3本を、左に回して取りはずしてください。本体を前方に傾けながら、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。
- 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。
●残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。
●取りはずした油受けを元通りに油受けざらにセットしてください。
●置台と油受けざらの隙間のほこり、ごみを取りのぞいてください。
- しん調節器の蝶ナット4本を、取りはずしてください。
●蝶ナットが回しにくい場合は下図のようにドライバーなどを使って、回して取りはずしてください。

7 しん調節器を、ゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。

- ハンドルジクに固定してあるレンケツパンの止めねじ1本を取りはずし、レンケツパンを取りはずします。
- ハンドルジクを右方向「○」に必ず止まるまで回して、しん保持筒が最大まで上がった後にハンドルアームをしん保持筒の溝よりはずします。
- ハンドルジクを右に止まるまで回してきたまま、しん保持筒を持って上に持ち上げて取りはずしてください。

お願い

ハンドルアームに板バネが取り付けられている場合は、しん保持筒があたらないように注意してください。また、しん下部がバネにからまないようにも注意してください。

お願い

古いしんを4つ折りにするようにして、しんのガイドピン(3箇所)をしん保持筒からはずし、しんを下へ引き抜いてください。新しいしんを、軽く4つ折りにするようにして、しんのガイドピンを、しん保持筒の穴(3箇所)に差し込んでください。

お願い

しん保持筒には上下がありますので刻印を確認して間違えないようにしてください。

12 しんを、しん保持筒の内側に指で押しつけてなつかせてください。充分になつかせないと、対震自動消火装置が作動したときに、しんが下から下がることがあります。

- ハンドルジクを左方向に完全に止まるまで回して、しんが完全に下がった状態にしてからレンケツパンをハンドルジクに通して差し込み、レンケツパンを支持しながら止めねじ1本で固定してください。
- ハンドルジクを右方向「○」に止まるまで回してから、しん案内筒に、しん保持筒を取り付けたしんを差し込んで、しん案内筒になつかせてください。しん保持筒の溝に、ハンドルジクを左方向「○」に回しながらハンドルアームの先端を差し込み、ハンドルジクを止まるまで左方向「○」に回してしんを下げてください。
- しん調節器の蝶ナット4本を、取りはずしてください。
●蝶ナットが回しにくい場合は下図のようにドライバーなどを使って、回して取りはずしてください。

お願い

レンケツパンは、ガイドをスリットに差し込んで固定してください。

お願い

ハンドルアームに板バネが取り付けられている場合は、取りはずすと同時にしん保持筒としん下部に注意してください。

17 しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、11ページ6項ではずしたしん調節器の蝶ナット4本を、対角線上の各々2本ずつ均等に締めてください。

- 片側のみを締め付けるのではなく、4本を均等に徐々に締めてください。しん調節器の上面としん案内筒の上面の高さが、揃っていることを確かめてください。
●削いが悪いと炎が片寄ってしまいます。

お願い

しんの上下がスムーズでない場合は、13ページ12項からやり直してください。

お願い

「感震部」を押して、対震自動消火装置を作動させ、しんがスムーズに確実に下がるかどうか、2～3回確認してください。

お願い

しんの高さは、22ページ「各型式のしんの高さ」一覽表を参照してください。22ページに、しんの高さを確認しやすいゲージがついています。しんの高さが、均一に揃っていることを確かめてください。

●しん先端の糸のほつれ等は、はさみなどで切り揃えてください。

20 「感震部」を押して、対震自動消火装置を作動させ、しん調節つまみを引き抜いてから、本体を前方に傾けながら、ゆっくりとかぶせてください。

- 本体の両側面と背面を、止めねじ(3本)で固定してください。
- しん調節つまみの目印を「緊急消火位置」に合わせて、取り付けてください。
- 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。
- 油タンクに給油してから20分以上待つてしんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。

適合する機器の型式表の参照 ⑤ の機種

- 油タンクと、電池ケースから乾電池を取り出してください。
- 「緊急消火ボタン」を押して、対震自動消火装置を作動させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。
- しん調節つまみを引き抜いてください。

- 本体の両側面と背面にある止めねじ3本を、左に回して取りはずしてください。本体を前方に傾けながら、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。
- 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。
●残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。
●取りはずした油受けを元通りに油受けざらにセットしてください。
●置台と油受けざらの隙間のほこり、ごみを取り除いてください。
- しん調節つまみの目印を「緊急消火位置」に合わせて、取り付けてください。

6 しん調節器の蝶ナット4本を、取りはずしてください。

- しん調節器を、ゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。
- 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。
- 油タンクに給油してから20分以上待つてしんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。

- 油タンクを、給油時消火装置のアームの上に載せて給油時消火装置のアームを押し下げてください。
- ハンドルジクにしん調節つまみを取り付け、右方向「○」に必ず止まるまで回して、しん保持筒を最大まで上げてください。
- しん保持筒を持って、ハンドルアームの溝から、しん保持筒のピン(前後に2箇所あります。)を左「○」に回して取りはずしてください。

お願い

抜け止めのために、少し重し箇所がありますので、指を滑らせてケガをしないように、慎重におこなってください。

お願い

しん保持筒には上下がありますので、刻印を確認して、間違えないようにしてください。

12 しんを、しん保持筒の内側に指で押しつけてなつかせてください。充分になつかせないと、対震自動消火装置が作動したときに、しんが下から下がることがあります。

- ハンドルジクを右方向「○」に止まるまで回してから、しん案内筒に、しん保持筒を取り付けたしんを差し込んで、しん案内筒になつかせてください。ハンドルアームの溝(前後2箇所)にしん保持筒のピン(前後2箇所)を右「○」に回してはめ込んでください。
- 古いしんを4つ折りにするようにして、しんのガイドピン(3箇所)をしん保持筒からはずし、しんを下へ引き抜いてください。新しいしんを、軽く4つ折りにするようにして、しんのガイドピンを、しん保持筒の穴(3箇所)に差し込んでください。
- しん調節器の蝶ナット4本を、取りはずしてください。
●蝶ナットが回しにくい場合は下図のようにドライバーなどを使って、回して取りはずしてください。

14 しん調節つまみを回して、しんが上下にスムーズに動かか確認してください。

- 油タンクを持ち上げたとき給油時消火装置のアームが上がリ、しんが最下点まで確実に下がる事を確認してください。
- しん案内筒としん調節器の隙間が全周揃っている所で、17ページ6項ではずしたしん調節器の蝶ナット4本を、対角線上の各々2本ずつ均等に締めてください。片側のみを締め付けるのではなく、4本を均等に徐々に締めてください。しん調節器の上面としん案内筒の上面の高さが、揃っていることを確かめてください。
●削いが悪いと炎が片寄ってしまいます。
- 給油時消火装置のアームを指で押し下げながら、しんを上げてから「感震部」を押して、対震自動消火装置を作動させ、しんがスムーズに確実に下がるかどうか、2～3回確認してください。

18 しんの高さは、22ページの「各型式のしんの高さ」を参照してください。

- しんの高さが、均一に揃っていることを確かめてください。
- 「感震部」を押して、対震自動消火装置を作動させ、しん調節つまみを引き抜いてから、本体を前方に傾けながら、ゆっくりとかぶせてください。

20 本体の両側面と背面を、止めねじ(3本)で固定してください。

- しん調節つまみの目印を「緊急消火位置」に合わせて、取り付けてください。
- 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。
- 油タンクに給油してから20分以上待つてしんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。

22 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。

- しん調節器の蝶ナット4本を、取りはずしてください。
●蝶ナットが回しにくい場合は下図のようにドライバーなどを使って、回して取りはずしてください。
- 油タンクに給油してから20分以上待つてしんに灯油が十分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。

各型式のしんの高さ

■下表の、しんの高さの寸法は、●しんを、いっぱい上げた高さです。●でるつまみの機能がついているものは、しんの高さ調節つまみ(でるでつまみ)を①にして、しんをいっぱい上げた高さです。★下欄に、しん高さを確認するゲージがついています。しん高さが均一に揃っていることを確認してください。

型 式	しん高さ
RCA-70、RCA-200・201・202、RCA-261、RCA-371	6mm
RCA-71・72・74・75・76、RCA-203・204・205・206・207・208・262、RCA-300・301・372、RC-266PC・267S・269S・261S・2601・283S・P235E、RS-H27・H29E・H29SE・H297E・H298E・H299E・H29B・H29C・H29D・H29E・H29F・H29G・H29G・FH290・H2901・H2902・H291・L21・921、KRS-L21・211・H297E、R-50・51、R-265・266、CR-180、CS-21、NT-181・182・183・184・185・186・187・188・189・P1801・P1802・1800・21、KGP-21・1800、KR-266、KS-L21、BRS-210、UT-L21、PS-K21、HRS-L21・234	8mm
RS-D298E・D299E・S29A・S29B・S29C・S29D・S29E・S29F・S290・DS290・S291、NT-S29C・S29D・S2900、KTP-S2917・S2918・S2919、RSYM-290	9mm
RCA-263・264・373・374、R-375、RS-L27・293、KRS-L27、KR-375、NT-231～237、KGP-27・2300、PS-234JIK・235JIK・238JIK・27AJIK・K27、RS-D294	10mm

■しん高さの確認のしかた

■しん高さ確認ゲージ

しんの高さをはかるときは下図を破線の部分で切り取ってください。

●右の、しん高さ確認ゲージを使用して、しんが規定の高さに均一に揃っていることを確認してください。